

「平成25年度 病虫害発生予報第7号」の発表について

向こう 1 か月の主要な病虫害の発生予察情報については、次のとおりです。

- ・ 水稻では、トビイロウンカの発生が多くなると予想されます。水田内を注意深く観察し、水稻の株元に成虫及び幼虫を確認した場合は、防除適期を逃さずに防除を実施してください。
- ・ 大豆では、ハスモンヨトウの発生が多くなると予想されます。ほ場の観察をきめ細かく行い、本害虫による加害の特徴である白変葉の早期発見に努め、適期に防除を実施してください。
- ・ 果樹では、ハダニ類の発生が多くなると予想されます。園内の観察をきめ細かく行い、発生状況に応じて適期に防除を実施してください。

病虫害防除に関する留意点

- ・ 病虫害防除を効果的に実施するためには、病虫害の発生状況を的確に把握し、適期の防除につなげることが大切です。病虫害の発生は天候の影響を大きく受けるので、天候の状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報に基づき、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。
- ・ 薬剤防除を実施する場合には、適切な薬剤を選択するとともに、病虫害が薬剤抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。
また、農薬の使用基準を遵守し、散布対象外の農作物等に農薬が飛散しないよう対策を講じてください。

水稻

- ・ トビイロウンカの発生は、近畿、四国及び九州の一部地域で「多い」、中国の一部地域で「多い」又は「やや多い」と予想されます。本年は、九州地方を中心に 3 県から警報、14 県から注意報（9 月 17 日現在）が発表されており、発生が多い傾向です。

本害虫は水田に侵入後、急激な密度上昇により坪枯れ等の被害を起こします。水田内を注意深く観察し、水稻の株元に成虫及び幼虫を確認した場合は、都道府県から発表される発生予察情報で防除水準を確認して、防除適期を逃さずに防除を実施してください。

大豆

- ・ **べと病**の発生は、近畿の一部地域で「多い」、南東北の一部地域で「やや多い」、**葉焼病**の発生は、北陸の一部地域で「多い」又は「やや多い」、近畿及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
これらの病気は被害株が伝染源となるため、ほ場の外に埋める等適切に処分してください。また、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生状況に応じて適期に防除を実施してください。
- ・ **吸実性カメムシ類**の発生は、北東北、南関東、甲信、北陸、東海及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
ほ場の観察をきめ細かく行い、発生状況に応じて適期に防除を実施してください。
- ・ **ハスモンヨトウ**の発生は、東海及び中国の一部地域で「多い」、北陸の一部地域で「多い」又は「やや多い」、近畿及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
ほ場の観察をきめ細かく行い、本害虫による加害の特徴である白変葉の早期発見に努め、適期に防除を実施してください。

野菜・花き

露地栽培

- ・ 1 か月予報（9 月 13 日気象庁発表）では、東日本太平洋側で平年に比べ曇りや雨の日が多く、気温は全国的に平年並又は高いと予想されています。雨が多いと病気が発生しやすい環境となるため、発生を認めた場合は適期に防除を実施してください。

施設栽培

- ・ 気温が高い場合は、栽培管理上施設を開放する機会が増えるので、病虫害の施設への侵入又は野外への飛び出しに注意が必要です。
- ・ 施設内が過湿になると病害の発生が助長されるので、施設周辺に排水路を整備して、雨水が施設内に入らないように留意するとともに、作物の株間の通風を図る等、施設内が過湿にならないように管理してください。また、病害の早期発見に努め、伝染源となる罹病葉や罹病果は除去し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ ウイルス病を媒介するアザミウマ類、コナジラミ類等の侵入又は野外への飛び出しを防止するため、施設の開口部に防虫ネット等を設置するなどの対策を実施してください。また、雑草はこれらの害虫の発生源となりますので、施設内及び周辺の定期的な除草に努めてください。
- ・ 栽培終了後は蒸し込み処理等を行い、作物残渣での生存虫を死滅させてから搬出し、土中に埋める等確実に処分してください。

発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及び地域（露地・施設栽培）

作物名	病害虫	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
野菜共通	タバコガ類		北東北、南関東、甲信、北陸、東海、四国
キャベツ	ハイマダラノメイガ		東海、近畿
ねぎ	さび病		南東北、東海
	黒斑病		東北、北陸
	アザミウマ類	関東、東海、北陸	北九州
	シロイチモジヨトウ	東海	北関東、北陸、中国、四国、北九州
いちご	炭そ病	関東	南東北、東海、四国
きゅうり	炭そ病	北東北、四国	甲信
	べと病	北東北、四国	北陸
	アザミウマ類	南関東、沖縄	甲信、北陸、四国
	ハダニ類	北陸	甲信、近畿
トマト	灰色かび病	東海、四国	北東北
	アザミウマ類	北陸	
なす	アザミウマ類	南関東、北陸	北関東
	コナジラミ類	南関東、四国	
	ハダニ類	南関東	近畿
ピーマン	アブラムシ類	四国	北九州
きく	アザミウマ類	東海	四国、南九州
	タバコガ類		甲信、東海
	ハダニ類	南九州	東海

注）表中の地域については、その地域全域で発生がみられるものではありません。

- ・ **アザミウマ類**及び**コナジラミ類**は、発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、早期発見に努め、発生初期での防除を実施してください。
- ・ **タバコガ類**は、果実に食入してからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行い早期発見に努め、発生を認めた場合は適期に防除を実施してください。

発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及び地域

作物名	病虫害	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
果樹共通	カメムシ類	東海	北東北、北陸、南九州
かき	ハマキムシ類		中国
	フジコナカイガラムシ		四国
かんきつ	かいよう病	沖縄	
	ミカンハダニ	四国	中国
なし	黒星病	北東北	南関東、東海
	黒斑病	北陸	北東北
	ハダニ類	北東北、関東、近畿	甲信、北九州
	シンクイムシ類	北陸	北東北、南関東
ぶどう	褐斑病		近畿、九州
	チャノキイロアザミウマ		甲信、北九州
もも	せん孔細菌病		甲信
	ハダニ類		甲信
りんご	斑点落葉病	北陸	北東北
	ハダニ類		北東北、甲信
茶	炭そ病	近畿	南関東、北九州
	カンザワハダニ	南関東	
	クワシロカイガラムシ		東海、北九州
	チャノキイロアザミウマ		東海、北九州
	チャノコカクモンハマキ	南関東	近畿
	チャノホソガ		近畿、北九州
	チャノミドリヒメヨコバイ	南関東	東海、北九州

注) 表中の地域については、その地域全域で発生がみられるものではありません。

果樹共通

- ・ **果樹カメムシ類**は、生息場所である山林等から飛来してくるので、例年、カメムシ類の被害が多い園地や山林に隣接した園地では、園内の観察をきめ細かく行ってください。また、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

- ・ **ハダニ類**は、気温が高く雨が少ないと発生が助長されるので、天候の推移に注意して園内をきめ細かく観察し、発生状況に応じて適期に防除を実施してください。

かんきつ

- ・ **かいよう病**は、発病葉及び発病枝が伝染源となるので、除去して園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
特に、強風による擦れなどの傷口から容易に感染するため、風雨が強まることが予想される場合には、事前に薬剤を散布してください。

なし

- ・ **黒星病**は、伝染源となる発病葉及び発病枝を除去して、園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

茶

- ・ **チャノホソガ、チャノキイロアザミウマ及びチャノミドリヒメヨコバイ**の発生が多くなると予想される秋冬番茶の摘採予定園地では、摘採前日数を確認した上で、同一系統の薬剤の連続使用を避けて防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

平成 25 年 8 月 10 日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
8 月 16 日	宮崎県	水稻	トビイロウンカ
9 月 4 日	長崎県	水稻	トビイロウンカ
9 月 6 日	大分県	水稻	トビイロウンカ

注意報

警報を発表するほどではないが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
8 月 12 日	山口県	水稻	トビイロウンカ
8 月 16 日	愛知県	大豆、キャベツ、きく	オオタバコガ

8月19日	長崎県	水稲	トビイロウンカ
8月21日	佐賀県	水稲	トビイロウンカ
8月22日	群馬県	野菜、花き類	オオタバコガ
8月23日	北海道	てんさい	褐斑病
8月23日	大分県	水稲	トビイロウンカ
8月28日	福岡県	水稲	トビイロウンカ
8月29日	三重県	いちご	ハダニ類
8月29日	鹿児島県	水稲	トビイロウンカ
9月2日	埼玉県	水稲	ヒメトビウンカ（縞葉枯病、黒すじ萎縮病）
9月2日	奈良県	水稲	トビイロウンカ
9月2日	徳島県	水稲	トビイロウンカ
9月3日	岩手県	きゅうり	べと病、炭そ病
9月3日	山口県	水稲	トビイロウンカ
9月3日	山口県	大豆、野菜類、花き類	ハスモンヨトウ
9月5日	岐阜県	果樹作物（かき、なし、りんご、みかん、もも等）	果樹カメムシ類
9月9日	岐阜県	トマト	灰色かび病
9月9日	徳島県	大豆、野菜類、花き類	ヨトウムシ類、オオタバコガ
9月10日	和歌山県	水稲	トビイロウンカ
9月10日	熊本県	水稲	トビイロウンカ
9月12日	岐阜県	大豆、野菜類、花き類	ハスモンヨトウ
9月12日	香川県	水稲	トビイロウンカ

■ 特殊報

新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発生消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
8月22日	香川県	オリーブ	クワシロカイガラムシ、トビイロマルカイガラムシ
8月23日	山梨県	茶	チャトゲコナジラミ
8月26日	岩手県	わらび	ルイスコメツキモドキ、クロアシコメツキモドキ

8 月 28 日	福岡県	トマト	モザイク病
8 月 29 日	宮城県	きく、なす、ひまわり	アワダチソウグンバイ
9 月 6 日	広島県	トマト	モザイク病
9 月 13 日	長野県	トマト	黄化葉巻病
9 月 13 日	長野県	トマト	タバココナジラミ バイオタイプ Q

用語解説

地域

- ・ 北海道：北海道
- ・ 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
北東北：青森県、岩手県、秋田県
南東北：宮城県、山形県、福島県
- ・ 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北関東：茨城県、栃木県、群馬県
南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- ・ 甲信：山梨県、長野県
- ・ 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・ 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
- ・ 沖縄：沖縄県

発生量（程度）

- ・ 多い（高い）：やや多いの外側 10%の度数の入る幅
- ・ やや多い（やや高い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 平年並：平年値を中心として 40%の度数の入る幅
- ・ やや少ない（やや低い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 少ない（低い）：やや少ないの外側 10%の度数の入る幅

（平年値は過去 10 年間の平均）

平成 25 年度発表予定日

第 8 号：10 月 17 日（木曜日）

第 9 号：11 月 14 日（木曜日）

第 10 号：平成 26 年 2 月 13 日（木曜日）

(参考) これまでの発表

第 1 号 : 4 月 18 日 (木曜日)

第 2 号 : 5 月 16 日 (木曜日)

第 3 号 : 6 月 13 日 (木曜日)

第 4 号 : 7 月 11 日 (木曜日)

第 5 号 : 7 月 25 日 (木曜日)

第 6 号 : 8 月 15 日 (木曜日)

お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課

担当者 : 防除班 黒谷、後藤

代表 : 03-3502-8111 (内線 4562)

ダイヤルイン : 03-3502-5976

FAX : 03-3502-3386

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>